

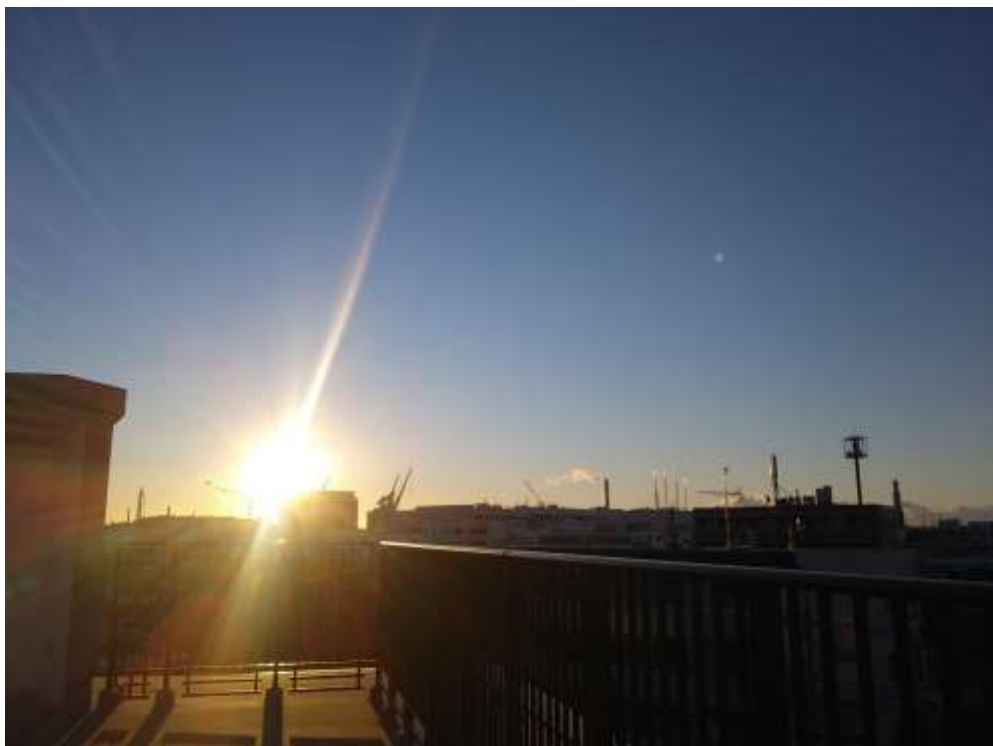


2021年1月

# しょうじゅ

しょうじゅの里 小野

第30号



新年のご挨拶 ～ 2021年を迎えて



皆さま、明けましておめでとうございます。  
 2021年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 新型コロナウイルスの感染が地球規模で拡大する中で、新しい年を迎えることになりました。今年も、昨年に引き続いて、対策に追われる一年になろうかと思いますが、皆さまには、ご自分自身とご家族を守り、また周囲の大切な方々を守りながら、健やかな日々を過ごして頂きたいと思っております。  
 本年もよろしくお願ひいたします。



## コロナ禍の“健康経営”とは？ その1

～従業員の健康に投資するという考え方～

施設長 鳥澤



みなさんは健康を維持するためにスポーツや運動、食事改善、趣味活動など、普段から取り組んでいることはありますか？  
 しかし、実際には『時間がなくて困っている...』、『仕事が忙しくて...』など、健康を維持するためにはいろいろと“壁”があるのではないのでしょうか。

今回は当施設が取り組んでいる今CMなどで話題の“健康経営”に着目してみることにしました。健康経営とは「従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資である」との考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです（経済産業省HPより引用）。

私たちは常にサービスの向上に心がけており、いつもご入居者様のことを第1に考えてケアに取り組んでおりますが、その根底にある職員の健康保持がまずは基礎として大切であり、職員の体調や働く環境に視点を置き、健康を維持・改善することが良質なサービスを提供するためにも大変重要なことであると考えております。

そのため、当施設では健康経営の一環として、業務中でも健康保持を意識した活動や管理を進めております。例えば、移動時はエレベーターではなく階段を利用し足腰の筋力強化をはかったり、健康診断の結果をデータ化し職員の健康状態を把握したり（データヘルス）など、職員の健康を保持する仕組みを只今つくっております。もちろん、コロナ禍での感染症対策や介護時の腰痛予防対策なども大切な健康経営の一環となります。この健康経営メソッドで今後も更なるサービスの向上をはかれるよう努めてまいります。次回は当施設の健康経営へのより具体的な取り組みをお伝えする予定です。



外出の制限がありますが屋上菜園にて季節を感じています

今年も健康で  
過ごせますように



ケアレター



天気の良い日は屋上にて気分転換しています



お正月 おせちを提供させていただきました

施設での様子をお伝えしたくケアレターを作っています。郵送で出来上がり次第送ります。



リハビリ体操を3密を回避して取り組み始めました

**面会中止期間延長のお知らせ**  
新型コロナウイルスの急速な感染拡大防止のため、東京と埼玉、千葉、神奈川の1都3県には「緊急事態行動」として政府が対策を行う方向で最終調整しているとの報道がありました。これをふまえ、ご入居者様の面会中止期間の延長をさせていただきます。今のところ再開の期日は未定です。  
ご入居者様が安心して暮らせる環境を保持するため、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。  
なお、面会につきましての詳細は、随時ホームページでご案内させていただきます。また、ご入居者様の状況や面会方法についてご不明な点がございましたら、当施設までご連絡いただきますようお願いいたします。



- 内科 ・ ・ 8日 ・ 13日 ・ 22日 ・ 27日
- 精神科 ・ 5日 ・ 19日
- 歯科 ・ ・ 5日 ・ 12日 ・ 19日 ・ 26日

空気が乾燥し、インフルエンザを始めとする、この時期に流行しやすい感染症には特に気を付けなければいけない季節となりました。今年には新型コロナウイルス対策もありますので、引き続き、健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。